

# 函館市子ども会議

---

～大学生サポーターとして参加してみて～

北海道教育大学函館校 地域教育専攻  
学校臨床・子育て支援研究室

# 子ども会議について

子どもたち自身が、子どもに関係する施策やまちづくりに関すること等について話し合い、意見発表することで社会参加してもらいます。

---

「函館市子ども条例」 平成28年4月1日施行

## 第18条（子どもの社会参加）

市は、子どもに関係する施策について子どもが意見を表明できるようにするなど子どもが社会参加をする機会を設けるよう努めます。

# 子ども会議について

「こども基本法」 令和5年4月1日施行

第11条（こども施策に対するこども等の意見の反映）

国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

【意見反映の2つの意義】

- 1 こどもや若者の状況やニーズをよりの確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになる
- 2 こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。ひいては、民主主義の担い手の育成に資する。

資料：「こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン」

# 子ども会議について

令和5年度および令和6年度に実施された函館市子ども会議に、大学生サポーターとして参加しました。

・ファシリテーター（司会進行）

北海道教育大学函館校 本田 真大 准教授

・大学生サポーター 北海道教育大学函館校 3～4年生

【令和5年度サポーター：8人】

【令和6年度サポーター：5人】



# 函館市子ども会議の開催

- 令和5年度 函館市子ども会議

テーマ「高校生が居場所に求めるもの」

参加者 市立函館高等学校1年生 16人



# 函館市子ども会議の開催

- 令和5年度 函館市子ども会議

高校生が普段からよく利用するGスクエアや亀田交流プラザ、中央図書館といった居場所の良い点、悪い点についてグループワークを行い、意見を出し合ったうえで、「どんな条件が整った居場所が欲しいか」についてリストアップし、意見表明を行いました。

## 【高校生が居場所に求めるもの】 ～主な意見～

「施設の選択肢が増える」「治安の良さ」「雰囲気の良い」「学生が遊べる場所」「勉強する人と話す人で居場所を分けてほしい」「無料Wi-Fi（ネット環境）」「できるだけお金がかからない」「アクセスのしやすさ」など

# 函館市子ども会議の開催

- 令和6年度 函館市子ども会議

テーマ 「鍛冶児童館でやってみたいことは」

参加者 児童館利用者（小学3年生～中学2年生） 13人



# 函館市子ども会議の開催

- 令和6年度 函館市子ども会議 ～おおまかな流れ～
  - 1 若者と子どもの自己紹介（児童館ツアー）  
参加者が大学生に「鍛冶児童館の好きな場所」を案内



# 函館市子ども会議の開催

- 令和6年度 函館市子ども会議 ～おおまかな流れ～
  - 2 グループでの意見交流（話し合い）

好きな場所での活動を付箋で貼り，意見をまとめる



# 函館市子ども会議の開催

- 令和6年度 函館市子ども会議 ～おおまかな流れ～
  - 3 函館市（鍛冶児童館）への意見表明  
各グループで作成した模造紙を，皆で確認し意見交換



## 函館市子ども会議の開催

- 令和6年度 函館市子ども会議 ～主な意見～

### 【鍛冶児童館でやってみたいこと】

「体育館で遊ぶことが多いからクーラーとカーテンがほしい」

「外で遊ぶとき、時間が分からないから時計がほしい」

「日・祝日も少しでも児童館に来られるようにしたい」

「中学生以上もイベントや大会に参加できるようにしたい」

「スマホを使って動画を見たり、勉強に使いたい」

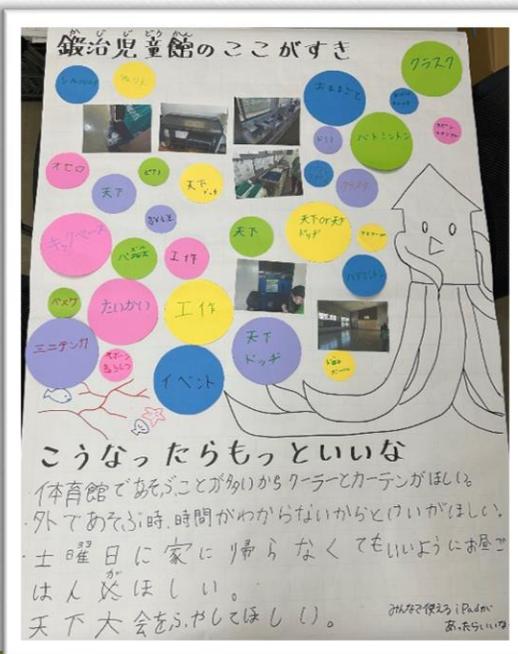
「おなか为空いたときにお菓子を食いたい」

「いろいろなスポーツ、遊びの大会を増やしてほしい」 など

# 函館市子ども会議の開催

- 令和6年度 函館市子ども会議 ～今後について～

会議で出た意見は、鍛冶児童館で掲示するほか、市ホームページで概要を公開しており、今後児童館と担当課で検討した結果を参加者にフィードバック



## おわりに

- 令和5年度および令和6年度実施の函館市子ども会議に、大学生サポーターとして参加した感想（若者の意見）

ご清聴ありがとうございました。

